

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む。そして「まち」の活性化へ

「人口ビジョン」・「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定

市では、少子高齢化による人口減少に歯止めを掛け、地域の活力を維持することを旨として、令和2年度～6年度の5カ年を計画期間とする「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「安曇野市人口ビジョン」を策定しました。その概要について、お知らせします。

☎政策経営課 TEL 71・2401 FAX 71・5155



市の将来推計人口は、近年の転入超過などを背景に、前回のビジョンよりも人口減少の速度が和らぐ見込みとなっています。ただし、人口減少に歯止めが掛かるわけではなく、20年後の人口は現在よりも2割減少し、約8万人となる見通しです。

人口ビジョンで示した 今後の目標人口と出生率	
2025年度	91,500人 (出生率 1.60)
2030年度	89,000人 (出生率 1.60)
2040年度	85,000人 (出生率 1.80)

市への転入は好調、
合計特殊出生率の改善が課題

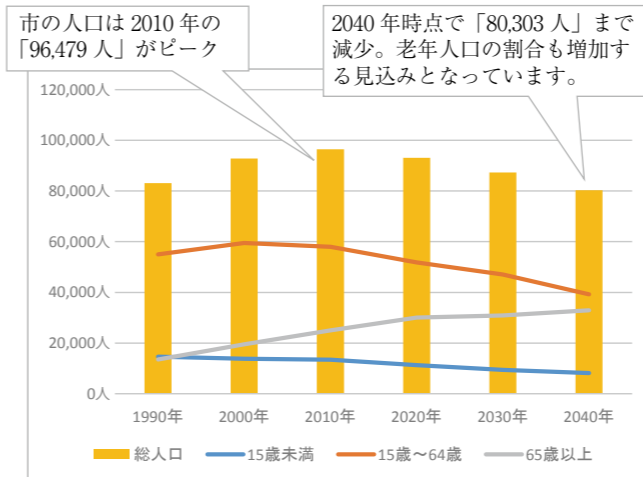
令和元年の市の社会増減数（転入者と転出者の差引）は県内19市の中で最も高く、プラス171人でした。

総合戦略策定の背景と目的

日本の人口は、2008年の約1億2800万人をピークとして減少局面に入り、2060年には約9300万人まで減少する見通しとなっています。

人口減少の問題は、地方にとっても大きな課題です。人口減少に伴う地域社会の担い手不足や地域経済の縮小は、さらなる人口減少を招く恐れがあり、結果として、地域の魅力や活力が損なわれていけば、日々の生活に必要な基本的なサービスの維持が困難になることが懸念されます。

こうした状況に陥ることのないよう、今のうちから市民の皆さんと共に課題に向き合い、総合戦略により体系的に取り組みを進めることで、人口減少を和らげ、人口減少に適応したまちづくりを目指します。



人口ビジョン(市の人口分析)

人口ビジョンは、総合戦略の基礎資料として、市の人口推移と将来の推計を示したものです。総合戦略の改訂と合わせ、新たに公表された政府統計や国立社会保障・人口問題研究所が公表している将来推計人口などを用いて、内容を見直しました。

4つの基本目標と主要施策

第2期総合戦略では、基本目標の実現に向け、11項目の「主要施策」、29項目の「目標値」を定めました。

目標1 新たな雇用を生み出す

◆主要施策 商工業の振興 / 観光の振興・戦略的な地域ブランドの創出 / 農林水産業の振興

目標2 移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する

◆主要施策 移住・定住の促進 / 交流活動の推進

目標3 安心して出産し子育てできるまちをつくる

◆主要施策 出産・子育て支援の充実 / 仕事との両立

目標4 人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる

◆主要施策 協働によるまちづくりの推進 / 里山再生(さとぼろ)の推進 / 秩序あるまちづくりの推進 / スポーツ活動の充実

持続可能な田園産業都市へ

第2期総合戦略からは、移住希望者向けのセミナーなどの移住につながるための直接的なアプローチだけでなく、「関係人口の拡大」を主要施策として掲げることとしました。関係人口とは、市と何らかの形で継続的に関わりをもっている人たちのことで、この取り組みにより安曇野ファンを増やし、将来的な移住・定住にもつながってまいります。

持続可能なまちづくりを推し進めていくためには、市民の皆さん、市内企業の皆さんとの連携、協働が欠かせません。心豊かで、活力のあるまちづくりに向け、確かな歩みを進めていきましょう。



安曇野市長 宮澤 宗弘

人口ビジョン、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、市ホームページ、政策経営課(2階11番窓口)、各支所などでご覧いただけます。